木のうつわと食卓の布 日高英夫　日高雅恵　二人の仕事

2009年4月10日(金)～4月19日(日)

外苑前 汐花にて開催

広い空と緑の木立が豊かな信州で、手仕事を続けるお二人です。

家具の作家でもある日高英夫さんの木のうつわと奥様、雅恵さんの手紡ぎ、手織の布です。 日高英夫さんの木の作品は、無駄な贅肉を削ぎ落とし、木そのものの息吹きを残した存在感を持ちながら実に軽やかで、信州の澄んだ空を想わせるさわやかなうつわ達です。

手に優しい微妙なラインのカトラリーと共に、手離せない一品となりそうです。 手紡ぎ、手織の布は、その素材となる糸の綿や亜麻の深い味わいにあふれています。時間をかけて丁寧に作られたものは、派手さはありませんが、永い間、暮らしに彩りとぬくもりを添えてくれることでしょう。